

一人ひとりが福田小のほこり

めざす子ども像

- ねばり強くとりくむ強い子
- 自分の見方考え方を広げ 学びを深めようとする子
- 興味をもち学びに向かう子
- 自己肯定感のある子
- 仲間と支えあえる子

学校目標
 一心 ちゃんと勉強しよう
 自分のために
 ～一人ひとりが福田小のほこり～

学校経営理念

めざす教師像

- 子どもに学ぶ教師
- 授業力のある教師
- もっと学びたいを引き出す授業
- 対話の目的を明確に児童の学びを深める授業
- 子どもに成長の希望を示せる教師
- 情熱をもって行動できる教師
- 最大の教育環境は教師自身

学校は、「人間関係をつくりながら互いの力を発揮し合って目標を達成する力をつける」ことを学ぶところである。「みんなが助け合って、みんなができるようになる。」ことをめざしたい。主体的に学ぶ児童が育つ学校をめざしたい。

生きる力

- 確かな学び**
 - 学習習慣の定着
 - 学習支援体制の推進
 - 学校図書館教育の充実
- 豊かな心**
 - 特別支援教育の充実
 - 道徳教育の充実
 - 体験学習の充実
- 健やかな体**
 - 基本的生活習慣の推進
 - 保健・安全教育の充実
 - 体力向上の推進

学力向上

- ・基礎基本の定着
- ・自学学習の推奨
- ・考え表現する授業づくり
- ・学校図書館教育の充実
- ・個による学習支援の充実
- ・『学び合い』
- ・ICT 機器を使用した学習

今年度の重点

校内研究

R5年度のテーマ
 自らの見方、考え方を広げる児童の育成

自尊感情の育成 「学校は楽しい」と思える

- ・体験学習の充実 ・異学年交流の充実
- ・学習過程を大切にされた学校行事の充実
- ・クラブ委員会の充実

安心の居場所がある

学校・学級

- ・「学校は楽しい」と思える
- ・基本的生活習慣の確立
- ・安心な学年・学級経営
- ・支援教育の充実
- ・人間関係づくりの充実
- ・サポート体制の確立 (STEP ルーム)

1年 学年目標
 「スタート★」
 一人ひとりが輝く学年

- ・人の話は最後まで聞こう
- ・自分のことは自分でできるようにしよう
- ・友だちのの気持ちを考えて行動しよう
- ・失敗を恐れずに挑戦しよう

2年 学年目標
 「やってみよう」

- ・自分で考えて行動する子。
- ・どんな学習もさいごまであきらめずに取り組む子。
- ・友だちの気持ちを考えて行動する子。

3年 学年目標
 「一人ひとりが自信をもって力を発揮しよう」

- ・まわりの人の心を温める言葉や行動のできる子
- ・自分たちで考え、挑戦しようとする子
- ・いろいろなことに興味・関心をもち、自ら学ぶ子
- ・学習と休み時間の切り替えをし、メリハリのある学校生活を送ることができ子

4年 学年目標
 【みんなでかがやく4年生】

か し こ く な ろ う
 が ん ば ろ う
 や さ し く し ょ う
 き も ち の い い あ い
 さ つ を し ょ う

5年 学年目標
 『Let's 5
 ★挑戦！！』

ち：小さなことでも挑戦する
 よ：よく学ぶことに挑戦する
 う：うまくいなくても挑戦する
 せ：全力で挑戦する
 ん：全員で挑戦する

挑戦の頭文字から自ら進んで物事に取り組む姿をあらわし、様々な場面で児童へ伝えていく。

6年 学年目標
 「PLUS1 一歩先の自分へ！輝く未来へ」

- ・最高学年としての意識をもたせ、5年生の目標「考動力」よりも一歩先を考えて行動できる子
- ・学習や苦手なことなどに、一つでも緒戦できる子
- ・限られた人間関係の中ではなく、友達の輪を広げて、多くの子と関われる子

福田教室 目標 自分や友達を大切にする教室
 重点 ・さいごまでべんきょうする子 ・ともだちとなかよくせいかつする子 ・げんきにからだをうごかす子

校内研究推進委員会
 目標：校内研究を持続可能な形で計画し、教員の授業力の向上や自らの考えを広げる児童の育成を推進する。
 重点：教科グループによる対話を通して自らの見方、考え方を広げる児童の育成

地域連携・行事委員会
 目標：「シン～開かれた学校～」
 重点：よりよい教育活動のため、地域との関わり方の調整や新しい関わり方の提案をする。
 : 50周年を念頭においた、行事や地域との関わり方を検討する。

ICT活用推進委員会
 目標：コンピュータ・インターネット等を有効に活用できるように備品の管理を行うと共に、その利用方法について研究し提案していく。
 重点：chrome book やロイロノートのよりよい活用方法を検討し、教職員に提案していく。

A 教務部
 目標
 ・職員が気持ちよく仕事ができるような職場づくり。整理整頓、仕事の精選、および、効率的な業務を意識していく。
 重点
 ・コロナ第5類への移行に伴う行事の活発化と精選。スマートな会議の進行。

B 指導研究部
 目標
 ・基礎基本の学力のさらなる定着を図り、自ら課題を見つけ、協働して解決する力を育む。
 ・今と未来の自分のために、考え、自分を成長させようとする心や態度を養う。
 重点
 ・様々なふれあいを通して自己肯定感を高め、主体的に学ぶ児童を育む。

C 特別活動・学校安全部
 目標
 ・みんなでよりよい学級・学校生活をつくろうとする児童の育成
 ・安全な行動ができるようにするとともに、他の人々の安全にも気配りできる児童の育成
 重点
 ・特別活動の充実
 ・「安全・安心な生活を送る」意識の高揚

D 児童支援部
 目標
 ・一人ひとりが安心して学校生活を送れるよう、温かい人間関係の構築を図る。
 重点
 ・すべての教育活動を通して、健全な心身の育成をめざす。
 ・一人ひとりを尊重し、お互いに認め合う心を養い、個性の伸長を図る。

学校評価の活用

- 評価目標の設定
- 自己評価の充実
- 評価時期の改善
- PDCAを生かした組織・運営の改善・充実

信頼と参画の組織

- 人材育成を機能させる職員集団の創造
- 支援教育推進体制の確立
- いじめ・不登校児童への支援体制の確立

現職教育OJTの充実

- * 指導力向上
- * 児童理解力 (人間関係づくり)
- * 学校運営 (キャリアアップ)
- * 支援教育

関係機関との連携

- * 教育委員会
- * 寺子屋塾
- * 児童相談所
- * 青少年相談室
- * 民生委員
- * 国際化協会

開かれた学校
 —充実の教育—

- * 保護者・地域との連携・協働
- * 地域ボランティアとの連携
- * 地域の応援を生かす活動